

菊地英博著 「消費税は0%に出来る」



沖縄メディカル病院 大山 朝賢

この著書「消費税は0%に出来る」は我が国の経済の現状についてわかりやすく書かれているので紹介しました。

1. 日本の消費税5%は安い？

著書の147頁をひもとくと、
 一「日本の消費税は5%で主要国と比較して非常に低い。これでは社会保障の財源が出ない。少なくとも10%以上に引き上げなければならない」これは政府与党、御用学者・マスコミなどが協調して国民に宣伝し、国民をマインドコントロールにかける為に必死に使う殺し文句である。しかし日本の消費税額が国税全般に定める比率や消費税の課税対象からみて、日本の消費税率は決して低くはない。国税に定める消費税の割合はスウェーデンの22.1%と全く同じである。(表1)。

表1 主要国の国税収入全体に占める消費税の割合(欧州諸国と日本の比較)

国別	税率・比率	国税の消費税率	国税に占める消費税の割合
イギリス		17.5%	22.5%
ドイツ		18.0%	27.0%
イタリア		20.0%	27.5%
スウェーデン		25.0%	22.1%
日本	[5%のうち 1%は地方税]	5.0%	22.1%

(注)①ヨーロッパ各国では食料品、衣料品は軽減税率。医療、教育、住宅取得、個人不動産、衣料などは非課税
 ②アメリカでは、消費税は州税。国税は法人税と所得税。

2. 日本の政府は国債という借金で首がまわらない？

著書99～101頁をひもとくと
 一我が国の予算は一般会計と特別会計の両方で把握しなけれな実態はつかめない。2007年度予算で両方の会計をみてみよう。一般会計の歳入総額は税収51兆円、国債発行25.4兆円、その他収入8.2兆円、合計84.6兆円である。これに対し歳出総額は81.8兆円であった。一般会計から国民に支出される金額33.9兆円(41%)

は教育・研究費、防衛費にあてられる。残り47.9兆円(59%)は特別会計に移され国民に支出される。特別会計の歳入は209兆円。一般会計からの繰入れ金47.9兆円、特別会計として国債発行16.8兆円、借入金37.4兆円、道路特別財源などの税収入と前期繰越金の合計72.1兆円であり、加えて国民の拠出金である保険料(医療、介護、年金、労働保険)が34.8兆円である。この収入をもとにして地方交付税15.2兆円、財政融資金17兆円、債務償還77.4兆円、国民への給付金(医療、介護、年金、労働保険)49.5兆円、その他9.6兆円、計168.7兆円の歳出総額となる。両会計の歳入と歳出の差額は42.9兆円となり、これが2007年度の国家備蓄金(埋蔵金)である。一

ここからは私見であるが、この埋蔵金で一般会計と特別会計の国債は年度内に買い戻せるのに何故しないのか、消費税を何故あげなければならないか、十分な余剰金があるのに何故小泉政権は医療福祉関係に毎年2,200億削減したか等々多くの疑問が出てきます。しかしこの著書を読んでいくうちに為政者や御用学者、マスコミ等の思想・思考や行動が見えてくるように思います。

3. 結び

この著書は去年、衆議院総選挙の前に著者の菊地先生から沖縄県医師会理事に寄贈されたものです。菊地先生、誠に有難うございました。遅まきながらこの紙面をかりて御礼申し上げます。次もわかりやすい、すばらしい本を書いて下さい。

菊地 英博 著

「消費税は0%に出来る 一負担を減らして社会保障を充実させる経済学一」

2009年7月16日 第一刷発行 ダイヤモンド社